

問1 壬申の乱に勝利して即位し、天皇中心の国づくりを進めた天皇は誰？

1. 天智天皇 2. 天武天皇 3. 聖武天皇 4. 桓武天皇

問2 天智天皇が全国的な統治を強化するために初めて作成させた、国民の名前や本籍を記録した台帳を何という？

1. 租庸調 2. 公地公民 3. 戸籍 4. 班田収授法

問3 663年、日本軍が唐・新羅の連合軍に敗れ、百済の復興に失敗した戦いを何という？

1. 元寇 2. 承久の乱 3. 壬申の乱 4. 白村江の戦い

問4 663年に、百済復興を目指した日本軍が唐・新羅の連合軍に大敗した戦いを何という？

1. 白村江の戦い 2. 壬申の乱 3. 承久の乱 4. 関ヶ原の戦い

問5 聖徳太子が制定した憲法において、仏教の尊重とともに取り入れられた教えを何という？

1. 道教 2. 仏教 3. 儒教 4. 神道

問6 聖徳太子が制定し、役人が従うべき命令を説いた憲法を何という？

1. 大宝律令 2. 十七条の憲法 3. 大化の改新の詔 4. 御成敗式目

問7 釈迦三尊像などに見られる、左右の形が同じになっている特徴を何という？

1. 左右対称 2. 和様 3. 大仏様 4. 禅宗様

問8 聖徳太子や蘇我氏が中心となって栄えた、日本で最初の本格的な仏教に基づく文化を何という？

1. 国風文化 2. 天平文化 3. 鎌倉文化 4. 仏教文化

問9 推古天皇のもとで摂政として登用され、聖徳太子とともに政治を行った有力豪族は誰？

1. 聖徳太子 2. 蘇我馬子 3. 物部守屋 4. 中臣鎌足

問10 天智天皇の死後、大友皇子と大海人皇子の間で跡継ぎをめぐる起こった大規模な内乱を何という？

1. 承久の乱 2. 元寇 3. 壬申の乱 4. 白村江の戦い

問11 壬申の乱で大友皇子と皇位を争った、天智天皇の弟は誰？

1. 大海人皇子 2. 大友皇子 3. 聖徳太子 4. 中大兄皇子

問12 奈良県の法隆寺などが該当する、飛鳥時代に日本で発展した現存する最古のものは何？

1. 鉄筋コンクリート建築物 2. 石造建築物 3. レンガ造建築物 4. 木造建築物

問13 飛鳥時代に、推古天皇の摂政として仏教を広め、法隆寺などを建立した人物は誰？

1. 推古天皇 2. 天武天皇 3. 聖徳太子 4. 中大兄皇子

問14 7世紀前半に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化を何という？

1. 天平文化 2. 飛鳥文化 3. 平安文化 4. 国風文化

問15 7世紀後半、壬申の乱で勝利し、天皇を中心とした国づくりを強力に進めた天皇は誰？

1. 天智天皇 2. 持統天皇 3. 文武天皇 4. 天武天皇

問16 推古天皇の時代、中国へ進んだ制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？

1. 遣隋使 2. 遣明使 3. 勘合貿易 4. 遣唐使

答え合わせ・解説

問1	答え 2 天武天皇	天武天皇は、即位後に天皇中心の政治体制を整えました。皇親政治を行いながら、律令制度の導入に向けた整備や、歴史書の編纂を命じるなど、国家としての骨格作りを行いました。
問2	答え 3 戸籍	天智天皇が作成させた戸籍（庚午年籍）は、日本で初めて全国的に行われたものです。これにより、誰がどこに住んでいて、どのくらいの労働力があるのかを国が管理できるようになりました。これにより、徴兵や税の徴収がスムーズに行える体制が整えられました。
問3	答え 4 白村江の戦い	663年、現在の韓国付近にある白村江（はくすきのえ）という場所で、日本軍は唐と新羅の連合軍と激突しました。しかし、最新の戦術を持つ連合軍に日本は完敗しました。
問4	答え 1 白村江の戦い	663年、日本は百済の遺臣とともに大軍を派遣しましたが、白村江で唐と新羅の強大な連合軍に大敗を喫しました。この敗戦は、当時の日本にとって国際的な大きな転換点となりました。
問5	答え 3 儒教	儒教は、孔子を祖とする中国の思想で、礼儀や孝行、そして君臣関係といった秩序を何よりも重んじます。聖徳太子が制定した十七条の憲法では、仏教を尊ぶ姿勢とともに、この儒教的な上下関係の秩序を取り入れることで、役人たちが天皇に仕えるべき規範を示しました。
問6	答え 2 十七条の憲法	604年に聖徳太子によって制定された「十七条の憲法」は、役人が守るべき道徳や心構えを説いたものです。特に「和をもって貴しとなす」という言葉が有名で、天皇への服従や、仏教を重んじることを説いています。
問7	答え 1 左右対称	釈迦三尊像に見られる「左右対称」の形は、当時の大陸の様式を忠実に受け継いだ証拠です。中心の仏像の両側に脇侍を配し、均整のとれた安定感のある姿を作ることで、仏の尊厳や穏やかさを表現しました。
問8	答え 4 仏教文化	仏教文化は、聖徳太子や蘇我氏ら有力豪族によって深く信仰され、寺院の建立が活発になりました。中国の南北朝時代や朝鮮半島の文化の影響を強く受けており、大陸風の優美な建築や彫刻が特徴です。法隆寺などの寺院が代表的です。
問9	答え 2 蘇我馬子	推古天皇が即位した際、馬子は甥である聖徳太子を摂政として登用し、新しい国づくりを主導しました。仏教の導入を積極的に進め、四天王寺の建立などにも深く関わりました。
問10	答え 3 壬申の乱	672年に始まったこの争いは「壬申の乱」と呼ばれ、地方の豪族や兵を味方につけた大海人皇子が勝利しました。勝利した大海人皇子は天武天皇として即位し、これまでの豪族中心の政治から、天皇に権力が集中する政治へと大きく転換しました。
問11	答え 1 大海人皇子	大海人皇子は672年の壬申の乱において、地方豪族の協力を得て大友皇子を倒しました。この勝利により、古代日本において天皇の権威を確立する重要な役割を果たしました。
問12	答え 4 木造建築物	法隆寺の金堂や五重塔などの西院伽藍は、現存する世界最古の木造建築物です。当時の優れた技術を示しており、エンタシス（柱の中央が膨らむ技法）などの特徴が見られます。
問13	答え 3 聖徳太子	聖徳太子は、推古天皇の摂政として、冠位十二階や十七条の憲法を制定し、能力重視の政治や天皇を敬う思想を広めました。また、仏教を深く信仰し、法隆寺や四天王寺を建立するなど、宗教面からも国の平和を祈願しました。
問14	答え 2 飛鳥文化	「飛鳥文化」は法隆寺の釈迦三尊像などに代表される、仏教中心の文化です。建築、彫刻、絵画などにおいて大陸の様式が積極的に取り入れられ、高度な技術が伝えられました。
問15	答え 4 天武天皇	天武天皇は飛鳥浄御原宮に都を定め、天皇を頂点とする専制的な政治体制を確立しました。また、歴史書である『日本書紀』の編纂を命じ、富本銭の鑄造を行うなど、国の基盤整備に力を注ぎました。
問16	答え 1 遣隋使	607年に小野妹子らが派遣されました。彼らは隋の皇帝に国書を届けて対等な外交関係を求めるとともに、仏教の教義や政治の仕組みを学び帰国しました。これにより日本には大陸の新しい文化が急速に流入しました。